

令和 5 年 1 1 月 1 3 日

総 務 部

唐津市名誉市民 保利耕輔様のご逝去に対する市長コメントと 弔問記帳所の開設

概要

唐津市名誉市民である保利耕輔様のご逝去に対する市長コメントを公開します。また、ご逝去に際し、市役所本庁舎と各市民センターに弔問記帳所を設置します。

1 市長コメント

別紙のとおり

2 記帳所設置日

1 1 月 1 3 日（月）

3 記帳できる場所と時間

本庁と各市民センター

平日の 8 時 3 0 分から 1 7 時 1 5 分まで

（本件の問い合わせ先）

総務部 総務課

担当：小宮、浦川

電話：直通 7 2 - 9 1 1 3（内線 1 4 1 1）

市長コメント

唐津市名誉市民・保利耕輔様の訃報に接し、謹んでお悔やみを申し上げます。

保利先生におかれましては、「百^{ひゃくじゅつ}術^{いっせい}は一誠^しに如かず」を座右の銘とし、昭和54年に衆議院議員に初当選され、34年有余の長きにわたり、国政の中枢で、文部大臣、自治大臣、国家公安委員長などの要職を歴任され、我が国の発展にご尽力いただきました。

また、国政を通じて本市の発展にもご尽力いただき、特に、基幹産業である農林水産業の振興については、お父様である故保利茂氏の遺志を引き継ぎ、上場土地改良事業の推進に全力を注がれ、長年の念願であった農業用水の安定確保が実現し、上場地域の農業環境は大きく改善いたしました。

さらに、都市基盤の整備では、本市と福岡市を結ぶ西九州自動車道の整備促進に注力され、今や、西九州自動車道は、北部九州の大動脈として物流や観光の面でも重要な役割を担っております。

そのほか、幾多の重要な事業に情熱を注がれ、県政の発展、本市の発展のため、多大なるお力添えを賜りました。

これまで保利先生が築いてこられたご功績は、本市の礎となり、将来にわたり末永く顕彰されることを確信しております。

ここに、一貫して唐津を愛され、唐津の繁栄にひたむきな情熱を傾けられた保利先生の本市への長年にわたるご貢献に敬意と感謝を表するとともに、唐津市民を代表して哀悼の意を表し、衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。

令和5年11月13日

唐津市長 峰 達 郎